

5 福井市障がい者地域生活支援拠点等事業について

地域生活支援拠点等とは

障がい者等の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、地域移行を進めるため、重度障がいにも対応できる専門性を有し、地域生活において、障がい者等やその家族の緊急事態に対応を図ります。

地域生活支援拠点等の機能

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------|
| ①相談 | 障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要なサービスのコーディネートや相談その他必要な支援を行う機能 |
| ②緊急時の受け入れ・対応 | 介護者の急病や障がい者の状態変化等の緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応を行う機能 |
| ③体験の機会・場 | 地域移行支援や親元からの自立等に当たって、障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能 |
| ④専門的人材の確保・養成 | 重度化した障害者に対して、専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行う機能 |
| ⑤地域の体制づくり | 地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行う機能 |

本市の地域生活支援拠点等について

○整備類型の変更

多機能拠点整備型（R3年度まで）

- 基幹相談支援センター受託法人に地域生活支援拠点事業を業務委託
- 基幹相談支援センター内の施設（GH等）の居室を確保し、基幹相談支援センター職員がコーディネーターとして相談対応
- 5つの機能を集約することで、ワンストップで相談から緊急対応まで可能
- 一方、委託法人内の居室を確保することで、受け入れ可能な種別が限定される



面的整備型（R4年度から）

- 事業所ごとに拠点登録を促し、地域における複数の機関が分担して機能を担う体制
- 専門性のある事業所（相談支援事業所も含む）それぞれが他の事業所と連携を図ることで、全障がい種別に対応が可能
- 拠点登録事業所は、報酬・加算等が算定可能となり、経営の安定に繋がる
- 地域資源の有効活用に繋がる